

つなぐ



<設立状況(29.8.1) 全41地区中>
 まちづくり協議会 22(23 地区)
 まちづくり協議会準備会 3(4 地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

Vol.14



昭和24年

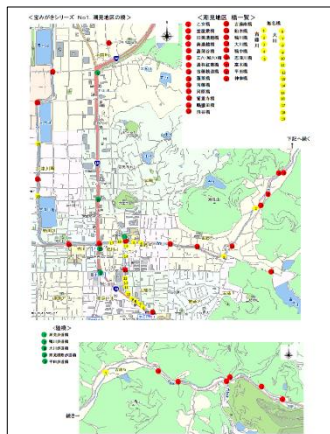
現在

潮見地区まちづくり協議会

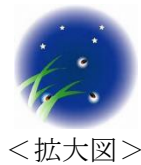
潮見ものがたり

～橋は昔を語る～

調査した橋の場所が、地図上に全て掲載されています。橋の種類は色分けがされており、番号も振られているため、一目で分かるようになっています。



ホタルがよく見られる場所には、橋の詳細ページにこのようなホタルのマークが付けられています。



<拡大図>

8.吉藤棧道橋

平成19年10月完成。吉藤運動公園整備事業に伴って完成した。そのため、道の半分が埋まっている。橋は橋脚(さんざい)と同一。橋道で岸から突き出ている。すぐ近くに、川に落ちる崖と整備されている。

吉藤 棧道橋

平成19年5月完成

橋名	吉藤 棧道橋
場所	吉藤 運動公園
橋長	約10m
橋幅	約4.5m
河床での長さ	約10m

この『潮見ものがたり』シリーズは、子どもたちが地元の歴史や文化を知ること、地元にもっと興味を持ってもらいたいという願いが込められており、発行後は小中学校などに配布していく予定です。

所々に工夫を凝らしています。

レイアウトや文章校正など、編集作業は協議会のメンバーが会議を重ねながら行いました。読み手を意識し、地図に色別で表示したり、ホタルを観賞できる橋にはホタルのイラストを付けたりと、随所に工夫を凝らしています。

今回の、その第一弾となる「潮見の橋」は「橋は昔を語る」が完成しました。

橋の調査には、既に独自調査をしていた方の資料をもとに実施しました。地図に掲載されていないものも含め、約50カ所に及ぶ橋の建設された時期や由来、長さ、幅、材質などを調べてまとめました。

潮見地区まちづくり協議会は、地域の宝をみくため取り組みとして、史跡等の解説板の設置だけでなく、身近な橋や鳥、句碑や常夜燈などをまとめ、シリーズ化する『潮見ものがたり』という冊子の作製に、昨年度から取り組んでいます。

7月2日(日)松山市民会館 中ホールにて、
第3回地域力パワーアップ大会を開催しました。

特集 地域力

パワーアップ大会

～地域で楽しく年を重ねよう～



「地域で楽しく年を重ねよう」をテーマに、第1部では三津浜地区、八坂地区、石井地区のまちづくり協議会が各地区で取り組む地域活動の事例発表を行いました。

第2部では、3地区の代表者と松山市コミュニティ・アドバイザーで意見交換を行い、地域の高齢者対策について互いに話し合いました。

・石井地区まちづくり協議会「いきいき脳教室サロン」

平成23年に社会福祉協議会の支援を受けて始まった「いきいき脳教室サロン」。現在はまちづくり協議会が主体となって、毎週1回2時間行われている。塗り絵や計算、数字盤を参加者のペースで行っている。時間を測って行うものもあるため、自分の成果を認識することができ、やりがいにつながっている。実際に参加者のMMSE（脳の認知機能を確認する検査）の得点を調べると、約7割の参加者が学習前と後で数値を維持・アップしており、効果が見られる。



・八坂地区まちづくり協議会「ふれあいカフェ」

平成27年に始まった「ふれあいカフェ」は毎週木曜10時から16時、西法寺で開かれている。八坂地区には公共施設が少ないが、お寺の協力を得ることで場所を確保し、住民の憩いの場を作ることができた。午前中には健康体操が行われており、健康を維持しながらカフェで交流を深めている。また、雅楽演奏会などのイベントも開催し活性化を図っている。



第2部 意見交換



前田アドバイザー

●意見交換の総括
高齢者をはじめ支援を必要とする人たちに、支援だけでなく受援を考える必要を感じた。自立をするための受援とは何か。そこに発生するリスクの負担など悩みは大きい、協働という仕組みで克服できるのではない。正解だけでなく納得感あふれる解も必要なのでは。



若松アドバイザー

●地域づくりの拠点
まち協と高齢者を繋ぐキーワードが「地域包括支援センター」のように感じた。いかにこの包括と協働していくかが大切になると思う。
また、地域づくりの拠点は公民館だけではなくてきている。若者の集まる場所と繋ぐことで、世代を超えた交流ができるのではない。



讃岐アドバイザー

●事例発表を聞いて
今回のテーマは高齢者のためのまちづくりだった。しかし、高齢者は経験や知識もあるので、受け身ではなく主体的に高齢者の意見等を取り入れ、高齢者によるまちづくりがあっても良いと感じた。今はその経験や知識が若い世代に伝わっていないように感じる。



石井まち協
・福祉部長 高岡さん
・会長 丹下さん

●地域の意識変化
サポーターをはじめ、民生委員や町内会の役員など多くの人が、いい意味で問題意識をもって地域を見渡せるようになり、支える人と支えられる人が共に気にかけて見守っているような地域になりつつある。今後は、包括などと協力してサポーターを増やしたい。



八坂まち協
・事務局長 山岡さん
・包括東・拓南 木山さん

●今後の展望
健康体操は、最初は包括職員的主导で行っていたが、現在は参加者の自主運営になっており、各自に責任感が見られるようになった。参加者の中には認知症の方もいるため、月に1回程度は様子を見に行き、相談も聞いていきたい。今後はサロンへ切り替える予定である。



三津浜まち協
・福祉部長 石崎さん
・包括三津浜 井手さん

●地域の変化と課題
初めは活動にあまり乗り気でない参加者が多かったが、回を重ねることで仲間意識が芽生え、多くの人が積極的に動くようになった。
参加者の固定化が進んでいるので、いかに地域の人を呼び込むかが必要になってくる。今後は参加者の意見や関心事を取り入れたい。



まちづくり女子会



女性にしかできないこと
もありますよね◎



自分たちが主体的に考える方が
楽しいですね♪

5月29日(月)、6月1日(木)に
まちづくり女子会を開催しました。
各まちづくり協議会で活躍されて
いる女性にお集まりいただき、それぞ
れの思いを語るなど交流を深めまし
た。具体的には、各地区の取り組みや、
今後やっていきたいこと、より多くの
女性にまちづくりに参加してもらう
方法などを、女性ならではの視点で話
し合いました。
お菓子を食べながら、和やかな雰
囲気で話が盛り上がりました。

まちづくり協議会準備会が設立されました！！

人口 19,594 人
世帯数 8,162 世帯
※H29.7.1 現在

久枝の皆さんと、子ども・
高齢者が共に誇りを持て
るように地区を育て、守れ
るよう頑張ります。



久枝地区



久枝地区まちづくり協議会準備会
会長 吉岡 隆さん

7月12日(水) 久枝地区まち
づくり協議会準備会の設立総会
が開催されました。松山市では
25番目の設立となります。久枝
地区は交通の利便性が高く、ま
た、伝統文化も大切に受け継がれ
ている地区です。地域課題の解決
に一丸となって取り組みます。

味生地区



人口 26,600 人
世帯数 11,087 世帯
※H29.7.1 現在

味生の皆さんと協働し
て、住みよいまちづく
りを目指します。



味生地区まちづくり協議会準備会
会長 井原 清彦さん

6月14日(水) 味生地区まち
づくり協議会準備会の設立総会
が開催されました。松山市では
24番目の設立となります。味生
地区は世代を問わず楽しめる公
園や施設が充実しています。住
んでよかったと思えるまちづく
りを目指します。

第12回 まちづくりで 輝く 人

地域で活躍している人を紹介します



潮見地区まちづくり協議会
会長 中西 恒博さん

趣味・特技

趣味はアウトドア全般で、木造
工作が特技です。
勝敗を競うものは苦手です。

第12回のまちづくりで輝く人
は、潮見地区の「潮見ものがたり」
の作製でも活躍されている、潮見
地区まちづくり協議会会長の中西
恒博さんを紹介いたします。

【潮見地区はどのようなところですか？】

東側に山、西側に平地が広がる、静かな住宅地
です。保育園・幼稚園・小中学校が適当な場所にあり、
スーパーも多く、医療機関もほぼ全科揃っているの
で、非常に便利な地区です。

古くから住んでいる人の割合は少なくなりましたが、
新旧の融和もよく、大きなトラブルのない人心
の温かな地域です。

【どのような活動に取り組まれていますか？】

まち協が、人・組織・地域を結びつける橋のよう
な存在でありたい、という思いが潮見まち協の基本
理念です。したがって、既存組織の事業には直接介
入せず、裏方として支援しています。

一方、既存組織では手をつけていない文化的事業
の掘り起こしや、ふれあい農園の経営、ふるさと音
頭の踊りグループの育成など、地道な活動を進めて
います。

【まち協で活動して良かったことを教えてください。】

地域内に年代を超えた友人や知人が増えたこと、
そして人と人を結びつける役を得たことです。これ
により、自分の幅が広がったように思います。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

まち協が地域に認知されるまで10年かかると考
えています。そのためには、今の地道ですが積極的
で誠実な姿勢を通じて、認知され、期待され、この
地域に必要な存在になれるよう頑張りたいです。